

授業概要

保育所は 0 歳児の子どもから保育を行っている。乳児期は人生の出発点であり、人間が一生のうちで最も成長する時期である。この時期の、共働き家庭の増加や核家族化等の乳児を取り巻く社会状況を踏まえた上で、現代社会における乳児保育の意義について講義する。また、乳児保育（0 歳、1 歳、2 歳）の日常生活を理解するための知識や方法の理解を行い、乳児保育の 0. 1. 2 歳児が安心感を抱いて安全に過ごすことができる保育環境や保育の援助方法について講義する。授業では、適宜 DVD 視聴やグループワークなども行い授業内容の理解を深めていく。

授業計画

- 第 1 回 オリエンテーション
- 第 2 回 乳児保育の理念と歴史の変遷
- 第 3 回 乳児保育の役割と機能
- 第 4 回 乳児保育の現状と課題① 保育所における乳児保育
- 第 5 回 乳児保育の現状と課題② 乳児院における乳児保育・家庭的保育等における乳児保育
- 第 6 回 乳児保育の現状と課題③ 0.1.2 歳児や家庭を取り巻く環境と子育て支援の場
- 第 7 回 乳児保育の現状と課題④ 愛着関係・基本的信頼関係の構築と発達
- 第 8 回 乳児（0 歳児）の発達過程と保育における配慮（保育士等による援助や関わり）
- 第 9 回 1 歳児の発達過程と保育における配慮
- 第 10 回 2 歳児の発達過程と保育にかける配慮
- 第 11 回 0.1.2 歳児の発育・発達を踏まえた保育内容
- 第 12 回 3 歳未満児の生活と環境
- 第 13 回 3 歳未満児の遊びと環境
- 第 14 回 乳児保育における計画・記録・評価とその意義
- 第 15 回 乳児保育における連携・協働（職員間・保護者・地域・関係機関）
- 第 16 回 まとめ

到達目標

1. 乳児保育（0.1.2 歳児の保育）の理念と歴史の変遷及び役割等について学び理解できる。
2. 保育所、乳児院等における乳児保育の現状と課題について理解できる。
3. 0.1.2 歳児までの発育・発達を踏まえた 3 歳未満児の保育について理解できる。
4. 乳児保育の計画を作成し、保育の内容や方法、環境の構成や観察・記録等について理解できる。
5. 乳児保育における保護者や関係機関との連携について理解できる。

履修上の注意

- ・乳児保育での学びの内容を確認し、積極的に授業に参加すること。
- ・資料のプリントファイルを、常に持参すること。
- ・教科書を常に持参すること。

予習・復習

- ・予習：保育所保育指針、教科書を読んでおく。
- ・復習：授業内容のプリントファイルを作成し、整理して重要事項をチェックする。

評価方法

・授業への参加姿勢（出欠も含む）（10%）、課題レポートの提出（30%）試験（またはレポート）（60%）で評価を行い、総合評価 60 点以上を合格点とする

テキスト

- ・教科書名：乳児保育の理解と展開
- ・著者名：須永進編著、川喜田昌代
- ・出版社名：同文書林
- ・出版年（ISBN）：978-4810314878

- ・教科書名：幼稚園教育要領・保育所保育指針・幼保 連携型認定こども園教育・保育要領の成立と変遷
- ・著者名：民秋言編著
- ・出版社名：萌文書林
- ・出版年（ISBN）：978-4893472540